



無所属 一人会派  
HP「辻よし子と歩む会」で検索



☎ 197-0802  
あきる野市草花 3012-20  
T&F : 042-559-6941  
携帯 : 090-9386-1275  
e-mail : kusasigi@nifty.com

小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず！

9月議会  
一般質問 その1

今後求められる、不登校の子ども達への支援

◆増える不登校、追いついていない支援

9月議会の一般質問で不登校の問題を取り上げました。あきる野市における昨年度の不登校の子ども数は148人。その内90日以上欠席している子どもの割合は小学校で63%、中学校で75%と、全国平均に比べてかなり高いことが分かりました（全国平均小学校42%、中学校61%）。

今年度は7月末で既に105人に達し、中学生においては不登校になって2年目の生徒が70%、3年目の生徒が24%と、長期化している割合が高いことも分かりました。

市内には、不登校の子ども達が通う適応指導教室があります。市役所西側の旧庁舎3階、「せせらぎ

教室」という紙が窓に貼られた場所です。7月時点で在籍数は23人で、不登校の子ども達すべてがせせらぎ教室に通っているわけではありません。他に、3人のスクールソーシャルワーカー（困り事を抱えた子ども達に対して、先生や保護者と協力して支援にあたる専門職。以下、SSW）が必要に応じて相談にのっています。

7月末時点の不登校の子ども達105人のうち、せせらぎ教室にもSSWにもつながっていない子ども達が何人いるか確認したところ、58人とのこと。半数を超える子ども達が学校外の支援につながらないことになり、不登校の増加に、公的支援が追いついていない実態が浮き彫りになりました。

9月議会  
ポイント

- 今後求められる、不登校の子ども達への支援 (1-2頁)
- 区画整理事業での不適切な文書の取扱いについて (2頁)
- 2020年度決算について問題点を指摘し、反対 (3頁)
- 生活保護制度に関する意見書を提案するも、否決 (4頁)
- 五日市の土地購入費を削除する修正案が、可決 (4頁)

賛否の分かれた主な議案 (9月定例会議)

(○：賛成、×：反対)	くさしぎ (辻1人)	自民党 志清会 (議長を除く10人)	公明党 (3人)	未来 (3人)	共産党 (3人)	結果
2020年度 一般会計 決算 (3頁)	×	○	○	○	○	認定
2020年度 区画整理事業特別会計 決算	×	○	○	○	○	認定
2020年度 下水道事業公営企業会計 決算	×	○	○	○	×	認定
補聴器購入の助成を求める陳情書	○	×	×	○	○	不採択
生活保護の級地見直しに関する意見書 (4頁)	○	×	×	○	○	否決
一般会計補正予算 第5号 修正案 (4頁)	○	○	○	×	×	可決

### ◆不登校の子ども達に多様な学びの場を

不登校の問題については、2016年に一つの転機となる法律が超党派の国会議員によって作られました。いわゆる教育機会確保法と呼ばれる法律です。それまでは、不登校イコール問題行動として捉えられ、学校に戻すことを目指した指導が行われてきました。しかし、そのような指導が必ずしも全ての子ども達の自立につながるとは限りません。文科省では、「不登校児童生徒への支援は、『学校に登校する』という結果のみを目標にするのではない」「不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある」とし、これまでの方針を大きく転換しました。この法律を受け、国は各市町村に対しても、不登校の子ども達に多様な学習の機会を確保するよう求めています。

### ◆「適応指導」ではない、新たな支援を

しかし、現在のあきる野市では、今なお、学校復帰を目的とした従来通りの「適応指導」が中心です。そうした中、今回の答弁では、学校以外の場所で社会とのつながりや居場所を求める子ども達に対しても支援をしていくという明確な方針が示されました。また、それに合わせて、せせらぎ教室の役割も当然変わっていくだろうとの答弁がありました。

現在のせせらぎ教室は、学校復帰を目的としているためか、指導員は全員が元教員で、半数が元校長または元副校長です。今後、学校復帰だけにとらわれない多様な支援を進めていくためには、異なる分野の人材の登用も考えるべきではないか

9月議会  
一般質問 その2

## 区画整理事業での不適切な文書の取扱いについて

引田駅北口土地区画整理事業では、未だ確定していない清算金額が文書として一部の地権者に渡されるという不手際がありました。さらに、その文書について情報公開請求したにもかかわらず、存在しないものとして情報公開手続きの処理がされました。この問題の事実確認の結果について質問したところ、情報公開の担当部長からは、

**「情報公開制度や事務文書の取扱いに対する職員  
の認識不足に起因し、適切な処理がされてい  
なかったことによって発生した事案であり、行政**

と提案しました。さらに、「適応指導教室」という看板も外して欲しいと要望しました。不登校の子どもが多くが学校に通えない自分を責め、自己肯定感を持たずに苦しみ、親は自分の育て方が悪かったのではないかと悩むと言います。適応指導という言葉は、そうした子どもや親をさらに追い込む言葉のように感じます。不登校の子どもに問題があり、学校に適應できるよう指導するという意味に取れるからです。本来の支援は、子どもをありのままに受け入れ、その子にあった自立への選択肢を用意することです。新たな支援を進めていくためにも、古い看板は外すべきではないでしょうか。

### ◆不登校の子ども達の保護者が交流できる場を

不登校の子ども達の保護者の多くが、自分の子どもが不登校になったときに、同じ立場の保護者から話を聞くことで、どれだけ助けられたか分からないということを語っています。専門的な知識や経験を持つ人に相談することも、もちろん重要なのですが、特に答えは出せなくても、悩みや辛さを横の関係で共感できることが、親にとって大きな助けになると思います。

現在、市では不登校の子ども達の保護者が交流する場を設けていませんが、今後、保護者への支援のひとつとして検討していくとの答弁がありました。他の自治体では、公的な交流の場だけではなく、「親の会」と言った自主的な集まりの場もかなり多く見られます。市内でそのような場が持てないか検討中です。関心のある方はぜひご連絡ください。

**「に対する信用を失墜させるものと捉えている」  
「情報公開制度の手引きを遵守した適切な運用を  
徹底するよう指示を行い、再発防止に努める」**

との答弁がありました。

一方、区画整理事業の担当部長からは、文書作成に至った事実について明確な答弁が得られず、この事業が委託業者に丸投げになっているのではないかと以前からの疑念がさらに深まるばかりでした。

### 決算審査

### 1億4千万円を 掛けた子ども応援 商品券事業

コロナ対策として国の交付金を使って行われた事業です。18才以下の子ども1人に1万円の商品券を配りました。コロナによる影響を特に受けていない家庭にも、深刻な状況に置かれている家庭にも一律、子ども1人1万円給付するという、バラマキに近い事業であることと、その後の支援につながらないカンフル剂的支援であることに疑問を感じました。

また、この事業のもう一つの目的は市内事業所の経営支援にあり、商品券の使用は市内限定で、事業の運営はあきる野商工会に委託されました。委託業務には事業の効果測定のためのアンケート調査も含まれていましたが、その内容に問題が見つかりました。まず質問の冒頭に、「商品券事業が事業所の経営支援に役立ったことや地域経済の活性化に効果的であったことが表れれば、今後も行政から多大なご支援がいただけるものと見込まれます」という前置きがあり、質問項目にも誘導的な内容が含まれていました。1億4千万円の事業を評価するための調査として、市の最終的なチェックが甘かったのではないかと厳しく指摘しました。

### 新たに導入された 会計年度任用職員 制度の課題

2020年度から非正規公務員の制度が大きく変わり、嘱託職員や非常勤職員がすべて会計年度任用職員となり、一定の条件の下で、交通費や期末手当が支給されるようになりました。

あきる野市における期末手当の条件は、週20時間以上の勤務で、4/1～9/30の期間で6ヶ月、あるいは、10/1～3/31の期間で6ヶ月勤務した場合。そのため、週20時間以上、6ヶ月勤務しても9、10月を跨いで勤務した場合には期末手当支給の対象にならず、実際に2020年度には2名が対象外となったことが分かりました。公平性の面から制度の見直しを検討するよう求めました。

また、あきる野市の会計年度任用職員はすべてパートタイムです。フルタイムであれば退職金手当が支給されるなど、パートタイムよりも処遇が良く

## 2020年度決算について問題点を指摘し、反対

なるのですが、制度導入と同時に1日の勤務時間を15分短くするなどの見直しが行われ、結局、フルタイムは置かれませんでした。市が規定したパートタイムの勤務時間の上限は1日7時間45分、1週間当たり35時間です。2020年度の会計年度任用職員の勤務時間を調べたところ、残業時間を合わせると1週間当たり34.99時間になる例もありました。残業が常態化し、合計時間が規定を超える場合には、フルタイムの導入を考えるべきではないかと提起しました。

### 指名競争入札 のあり方を見直す 必要があるのでは

過去からの入札状況を調べてみると、同じ業者が決まった施設の清掃や機械整備を9年間連続して落札している例が複数見られます。いずれも指名競争入札です。指名競争入札については、一般的に談合や固定化が起きやすいことが問題視されています。「入札は適切に行われている」「業務の成果に問題はない」という通り一遍の答弁で済ませてよいのかどうか疑問です。担当部署の作成する仕様書がマンネリ化していないか、見積りの額は適正か等、固定化の原因を探る必要があるのではないのでしょうか。

また、工事においては、過去5年間の落札状況を見ると、1者しか応札しなかった事業が年々増加していることが分かりました。特に指名競争入札において1者応札になる例が多く、2020年については指名競争入札の約4割になることが分かりました。指名競争入札で1者しか応札しなかった場合は、入札をやり直すのが一般的と言われ、そのような規定を設けている自治体もあります。

指名競争入札のあり方を見直す必要があるのではないかと質問したところ、他の自治体の事例も調査し検討していきたいという答弁がありました。



## 議員提出議案

# 生活保護制度に関する意見書を提案するも、否決

生活保護制度は、健康で文化的な最低限度の生活を保障するために、生活苦に陥ったときに誰でもが利用できる社会のセーフティネットです。コロナ禍で仕事や住まいを失う人が増加する中、厚労省はこれまでになく積極的に生活保護制度の利用を呼びかけ、申請をためらう原因となっていた規定（扶養照会）を緩和する動きも見られました。

一方、厚労省は、生活保護費に関わる30年振りの大きな制度改革（級地\*の見直し）を進めようとしています。生活保護費については、2013年、15年、18年と連続して引き下げられ、生活扶助費だけで月2万円余り減額になってしまった世帯も少なくありません。今回の制度改革が、再び保護費の引下げにつながるのではないかと、懸念しています。

現在開かれている国の審議会では、今回の級地の見直し案に対して、専門家の間から様々な異論が出ていますが、厚労省は早めに審議を打ち切って省内

での検討に移す構えです。そこで、制度改革の目的や内容をもっと明確に示し、丁寧な審議をして欲しいという意見書を、あきる野市議会として政府に出すことを提案しました。

共産党と会派未来は賛同しましたが、自民党、公明党が反対をし、国に意見書を出すことができませんでした。現在審議中で結論が出ているわけではないので時期尚早、ということが主な反対理由のようです。丁寧な審議を求める意見書に早過ぎるということではなく、審議内容を見るとむしろ遅過ぎるくらいだと思います（小金井市議会では同じ内容の意見書が全員賛成で可決されています）。

(\*) 地域による生活様式や物価の違いに応じて、全国の市区町村を区分し、生活保護費の額に差を設ける仕組み。現在は3つの級地があり、さらに1つの級地が2段階に分かれている。一番支給額が高いのが1級地の1。東京23区と多摩22市が含まれる。あきる野市は、羽村市と共に2級地の1。

## 補正予算審議

# 五日市の土地購入費を削除する修正案が、可決

9月議会最終日に、市有地に隣接する民有地を1550万円で購入するという予算を含んだ補正予算案が提出されました。

現在の市有地は、公道と接している部分が狭く、旗竿敷地（または路地状敷地）と呼ばれる土地です。火災の際に車両の出入りがしにくいこと等から、用途が限定されています。隣接地を購入すれば法律上は旗竿敷地でなくなるため、確かに用途が広がり市有地の有効活用につながる可能性があります。

しかし、

●規定上は旗竿敷地ではなくなるものの、今回の民有地購入によって全面が公道に接する形になるわけ

ではない。いわば1本の路地が2本の路地になるだけで、しかも路地と路地で民家が挟まれた形になってしまう。

●有効活用のためには、現在、市有地に建っている古い建物を撤去する必要があるが、借主がいつ撤去するかははっきりしていない。

●購入予定の民有地と市有地との間に段差があり、工事費が必要になる。

など課題が多く、また、具体的な利用計画も示されていません。補正予算から土地購入費を削除する修正案が自公から提案されたため、その修正案に賛成をしました。

会派「くさしぎ」は、「草の根市議」から

取った名前です。政党や大きな組織に属さず、市民の横のつながりを大切に、草の根民主主義を目指して活動しています。

現在は、辻よし子だけの一人会派です。

\*クサシギは水辺の野鳥です→



辻よし子プロフィール：1960年生まれ。小学校教員を経て、ボランティアとしてタイの農村教育に関わる。1995年よりあきる野市に暮らす。「川原で遊ぼう会」を中心に、市内の環境保全活動に取り組む。3.11以後、新たに脱原発の市民活動を始める。2015年10月の補欠選挙で初当選。現在3期目。夫、次男、ネコ1匹と草花に暮らす。



HPをご覧ください!